

令和3年度 トップセミナー 実施要領

1. 目的 活力ある地域社会の構築を目指し、自治体経営に係る経営戦略、社会経済情勢、地方行財政制度等についての理解を深める。
2. 対象 市町村長、副市町村長、各議会正副議長、各議会委員会委員長、会計管理者、部長・副部長級職員及び人事研修担当課長
3. 定員 250人
4. 会場 高知県立県民文化ホール グリーンホール（高知市本町4丁目3-30）
5. 日程 令和3年10月26日（火） （受付開始 12:30から）

カリキュラム		時間	講師等
13:00 }	開会あいさつ	5分	こうち人づくり広域連合
13:05			
準備（5分）			
13:10 }	講演 「ウィズコロナ時代の自治体職員の働き方、 マネジメント」	100分	同志社大学 政策学部 教授 太田 肇（おおた はじめ）
14:50			
休憩（10分）			
15:00 }	政策研究共同研修報告	90分	・政策研究チーム ・一般社団法人日本経営協会 講師 西野 毅朗（にし の たけろう） （政策研究共同研修指導講師）
16:30			

（講演）太田 肇（おおた はじめ）



1954年兵庫県生まれ。神戸大学大学院経営学研究科修了。経済学博士。三重大学人文学部助教授、滋賀大学経済学部教授を経て、2004年に現職である同志社大学政策学部に教授として就任。現在、大学院総合政策科学研究科教授を兼任。専門は組織論、とくに「個人を生かす組織」について研究。

日本労務学会常任理事。組織学会賞、経営科学文献賞、中小企業研究奨励賞本賞、日本労務学会研究奨励賞などを受賞。『同調圧力の正体』（PHP新書）、『「超」働き方改革』（ちくま新書）、『「承認欲求」の呪縛』（新潮新書）、『ムダな仕事が多い職場』（ちくま新書）、『「ネコ型」人間の時代』（平凡社新書）、『公務員革命』（ちくま新書）、『「見せかけの勤勉」の正体』（PHP研究所）、『個人尊重の組織論』（中公新書）ほか著書多数。またマスコミ等でも幅広く発言している。

（政策研究共同研修指導講師）西野 毅朗（にし の たけろう）



1985年兵庫県生まれ。同志社大学政策学部卒、同志社大学大学院社会学研究科教育文化学専攻修了。博士（教育文化学）。専門は教育学（高等教育論）。政策学×教育学の知見を生かし、2011年より日本経営協会の最年少講師として、若手自治体職員を対象としたロジカルシンキング研修、問題解決研修、業務改善研修、政策立案研修等を実施している。

2016年に京都橘大学現代ビジネス学部経営学科（現・経営学部経営学科）専任講師に着任。2018年度日本高等教育開発協会賞、2020年度京都橘学園マスタープランアワード受賞。日本高等教育開発協会理事。主な共著書に『アクティブラーニング』（玉川大学出版部）、『研究指導』（玉川大学出版部）『自治体計画の特質および地方分権改革以降の変化と現状』（東京大学社会科学研究所）などがある。

こうち人づくり広域連合 森田 素子
高知市本町4丁目1-35 高知県自治会館4階
TEL : 088-873-0333
FAX : 088-872-7716